

平成 12 年度文部省科学研究費補助金「研究成果公開促進費」
(研究成果公开发表 (B))

第 54 回日本人類学会大会サテライトシンポジウム

『日本列島の人口潮流—ヒトはいかに生まれ死んできたのか—』

日時：平成 12 年 11 月 5 日 (日)

午後 1 00 ~ 午後 5:00

場所：東京大学安田講堂 (本郷キャンパス)

日本列島に住む私たちは、数千年あるいは数万年という長い歴史を背負っています。最近の新聞をにぎわしている石器時代人についてはまだ不明のことが多いのですが、縄文時代そして弥生時代になると、彼らの身体特性についても生業や社会についても多くのことが明らかにされてきました。人類学は、古人骨の解析や遺伝子分析を行うとともに、考古学をはじめとする隣接分野の研究者と共同して、日本列島における人類の生物学的・文化的特性を復元することを一つの大きな目標に据えています。しかし、なんととってもヒトがどのように生まれどのように死んでいったのか、という原点を忘れてはなりません。

この興味深い歴史的事実について、じつは十分にはわかっていないのです。人口統計資料が整備されるようになったのはごく最近のことですから、私たちにとって近い過去である江戸時代の人口のことさえ十分に理解されているとはいえません。しかし、人類学はさまざまな証拠から過去の人口動態に迫ろうとしています。また、現在の少子高齢化社会も歴史をとおしてみると、その特徴が浮き彫りにされるのです。この講演会は、考古学や歴史学を専門とする講師をも加え、長い時間軸のなかで私たちの存在を理解し、将来についても展望することを狙いとしています。

シンポジウム組織委員会

大塚柳太郎・中澤 港 (東京大学大学院医学系研究科)

木村 賛・近藤 修 (東京大学大学院理学系研究科)

主催： 日本人類学会

事務局 (連絡先)：〒113 0033 文京区本郷 7 3 1

東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻

近藤 修 数藤由美子

E-mail: anth2000@biol.s.u-tokyo.ac.jp